

人にやさしく
地球にやさしい

大日新聞

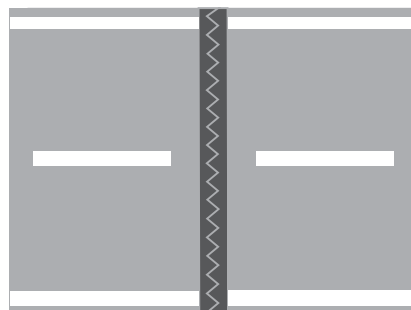
54号

大日化成株式会社
〒571-0030 大阪府門真市末広町 8-13
TEL : 06-6909-6755 FAX : 06-6909-6702
URL : <http://www.dainichikasei.co.jp>

通気緩衝工法 水分を逃がし防水層の割れ・ふくれを防ぎます
BIGSUN RX 工法

橋梁改修に欠かせない弾性シール材

「スカイシールF-12」は、従来のスカイシールF-1の優秀な物性にノンサグ性（材料がたれない）をプラスした弾性シール材で、傾斜や垂直面にも施工可能なため、用途は地覆目地の充填、垂直目地部、壁高欄の目地シールや、縁石、歩道部、突き合わせジョイント等の幅広い分野での施工が可能です。



従来のF-1では施工できなかった傾斜部のフィン、ジョイントや地覆・高欄の縦目地などの止水ゴムとして使用されています。

F-12の主成分であるポリブタジエンゴムは特に低温特性に優れており、実際の物性試験（化学物質評価研究機構）でも、マイナス40℃の極寒の環境でも400%の伸びが確認されています。

荷姿は、主剤2・1kg、硬化剤80g、添加剤20gの3材で、攪拌にはマザールを使用し、施工は、鍍やゴムヘラによる施工の他、吸い込みガンでの施工が可能で、一般のシーリング材と同様の手軽さも評価いただいて、2017年の販売開始より、おかげさまで毎年、前年越えの販売実績で推移しております。

現在の高速道路網は1963年の開通以来、30年以上経過した道路が約40%の3700km。橋梁も全体の約4割がこれに当てはまり、特に高架の床版やフィン、ジョイントは1991年のスパイクタイヤの使用禁止にもない、大量に撒かれるようになった凍結防止剤の塩害による劣化が進んでいます。

また、一般道路にかかる橋梁についても各自自治体による保守点検が義務化され、点検の結果、約10%に当たる6・9万橋が5年以内の補修や改修が必要という報告がされています。

Youtubeで大日化成チャンネルと検索していただければ閲覧可能です。



代表取締役 社長 小林 直樹

弊社は業務時間変更や職場の環境改善等、戸惑いながら日常生活と経済活動を両立させてきましたが、今後

新年を迎えまして、本年もどうぞよろしく
お願い申し上げます。

皆様には弊社製品を大変ご愛顧して頂きまして、謹んで厚く御礼申し上げます。

昨年は、コロナ禍で世界全体が不安と混乱の中、各国共、殆どの社会生活が委縮してしまいました。

日本でも日常生活が制限され、観光飲食からあらゆる業種まで経済活動が縮小する事態になりました。皆様も大変苦勞されて経済活動を続けておられると推測いたします。

欧米ではワクチンの接種が始まりましたので、今年には日本でもワクチンや治療薬が使用できる事と思います。徐々にではありますが通常生活に戻ろう、切に願っております。

さて昨年、日本では菅総理が誕生し、アメリカではまだ決定ではないようですが、恐らく今年、バイデン氏が大統領に就任されることでしょう。

混沌とした状況ではありますが、明るい題材として、今年が念願のオリンピックが開催される予定になっています。8月に世界の人々が集まり、楽しいイベントで盛り上がり、選手の素晴らしい競技に拍手と歓声をあげたいと思っています。

この製品は耐久性、耐候性、対低温性に優れており、30年使用後の検査においても初期物性を保持しております。

極寒のマイナス40℃であっても400%以上の伸びがありますので建築の弾性シール材としても使用出来ます。

その他、外壁タイル用オイル水系透明防水材のスカイコートW、難燃性防水BIGSUN FWP工法や屋上緑化材も製造しておりますので、是非、弊社営業担当者まで、お問い合わせ頂ければ幸いです。

スカイコートW
＜タイル張り面の透明外壁防水材＞
透明度の高い水系ウレタン樹脂を主成分とした1液型外壁用透明防水材です。

透明な塗膜
タイル仕上げの
意匠性は
そのまま!!



スカイレジン＜下地調整材＞
スカイレジンWE
エポフィラー
プライマーE
EPC-T

水系エポキシポリマーセメントモルタルの新しい形です。溶剤型塗布材料の下地調整材に最適です！

BIGSUN ラピタルエース
＜速硬型軽量プレミックスモルタル＞
コンクリート欠損部の補修に最適なポリマーセメントモルタル

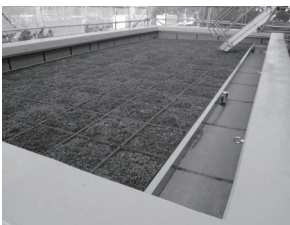


速硬
軽量
薄塗りから
厚塗りまで可能
取扱簡単!!



こんなところで活躍しています

守衛室屋上（VUS500）





日本の緑化事情 / 日本の国土に合わせた工夫が必要

屋上緑化の中心的な存在として使用されている「セダム類」とは、多肉植物の総称で、メキシコマンネングサ、タイトコメ・ツルマンネングサなど数多くの種類があります。乾燥に強いために過酷な条件の屋上緑化に使用されるのですが、その中でも使い出したのは、ドイツです。ドイツでは20年以上前からセダム類を使った緑化を行いつつ、技術革新が進んできました。しかし日本とドイツとは気候が違います。ドイツは夏は乾燥しますが、日本では湿度も多く、なにより台風という大きな違いもあります。

大日化成では、現東京都市大学教授であり日本セダムの権威者ともいえる、飯島健太郎氏と技術提携をおこない、緑化製品の開発を進めてきました。

ポイントとは、セダム類は日本の降雨量であれば、それだけで充分に育ちますが、設置の環境によっては適度な灌水が必要になる。雑草が育たない環境を

作るために、土量を出るだけ少なくすることでセダム類だけが生き残るようにする。セダムに花が咲くと枯れてしまうので、花が咲きにくいようにセダムそのものが育ちにくい環境を。このような要素で、VUS500は開発されています。オリジナル軽量土・機能面も兼ね備えたパレット。何より、開花したり設置環境にあわず枯れてしまっても、出来るだけ全滅しないように一つのパレットに、複数のちがうセダムを入れていきます。1〜3種類が枯れてしまっても、どれかが生き残るといいます。その品種も開花時期をずらした品種を混ぜています。このように、単にセダムを使えば良いと出るだけではなく、環境で長く使えるように工夫を凝らして作られています。



大日製品現場レポート

大日新聞に関するお問い合わせ・ご意見などはホームページ及び大日化成株式会社 06-6909-6755 までお願いいたします。

2020年7月に開催される予定で、東京オリンピックの世界的流行により感染症の心配がなされる中、延期が繰り返され、一度も延期されなかったことが、史上初のこととなりました。このオリピックの開催にあたり、さまざまな関連施設の工事や、関係する製品も多数採用して頂きました。例え、メイン会場となる「新国立競技場」(新宿区)や、飛田競技場の「東京アクアティクスセンター」(江東区)や、有明アリーナ(江東区)など、バトミントンやフエッティングなどの近代的な競技場や、選手村(中央区)や、さまざまな施設に、大日化成の製品が採用されています。また、選手村(中央区)や、さまざまな施設に、大日化成の製品が採用されています。また、選手村(中央区)や、さまざまな施設に、大日化成の製品が採用されています。



【おわりに】弊社と致しましては、今回の様な重要な施設に、大日化成の製品が採用されていることを誇りに思っています。今後も、さまざまな分野で、大日化成の製品が採用されることを目指してまいります。引き続き、ご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

DAINICHI CHEMICAL CO., LTD.

●本社
〒571-0030 大阪府門真市末広町 8-13
TEL : 06-6909-6755(代) / FAX : 06-6909-6702
●東京支店
〒105-0012 東京都港区芝大門 1-4-14 芝栄太楼ビル 5F
TEL : 03-3436-3801(代) / FAX : 03-3436-3803

大日新聞に関するお問い合わせ・ご意見などはホームページ及び大日化成株式会社 06-6909-6755 までお願いいたします。



次号も
お楽しみに

URL : <http://www.dainichikasei.co.jp>

Vol.51

映画で学ぶ 環境問題

サスティナビリティの秘密
原題 : Cowspiracy



監督 : キップ・アンデルセン
脚本 : キップ・アンデルセン
出演者 : キップ・アンデルセン
EXプロデューサー : レオナルド・ディカプリオ
上映 : 85分
公開 : 2014年

レオナルド・ディカプリオは1997年公開のタイタニックで全世界に名をはせて以来、誰もが知る映画俳優として有名ですが、意外と知られていないのが環境活動家でもあるということです。1998年には、陸域、海域、生物種の保全、および、気候変動の緩和と災害救援への取り組みを支援する「レオナルド・ディカプリオ財団」を設立しています。

俳優である一方としてプロデューサーとしても活動しており、幾つかの映画の制作にも携わっており、その一つが今回の、サスティナビリティの秘密です。デューカプリオ自身が出演しているようなハリウッド映画ではなく、環境問題に迫るドキュメンタリー作品です。環境問題のドキュメンタリーとして有名なものは、その作品が元になりノーベル平和賞を受賞した、元アメリカ副大統領アル・ゴア自身が出演した『不都合な真実』ですが、この映画の出演者でもあるキップ・アンデルセンは『不都合な真実』により環境問題に目覚め、その活動の末にこの映画を作るに至ったと作品中でも語っています。環境問題に取り組むべく、節水や

節電を行っているにもかかわらず、向いて向かないことに疑問を感じて調べていく中で、畜産こそが地球温暖化の原因であると気づきます。環境保護団体は、どこも取り組んでいないことから、様々な環境保護団体に質問しても、ほとんどの返答が得られず、自ら出向いて取材していき、ドキュメンタリー作品となっています。大気汚染の主要因は家畜の排泄物と餌を作るための森林伐採で、工業生産や輸送などの二酸化炭素排出量の比にならないという主張で、1リットルの牛乳を作るのに何トンもの水と飼料が必要だというような判りやすい解説をグラフや絵解きを用いて逐次入れていきます。とはいえ、そのデータはどこから来ているのか、信憑性に欠けますし、エビデンス的なものは何一つ示されず、疑問もありません。二酸化炭素排出に関して世界では様々な規制が始まっていますが、先頃日本でも決定されましたが、欧州では数年後にはガソリン車の新車販売はできなくなるといわれています。他方で、プラスチックゴミの問題や、海洋汚染など、多岐に渡って環境汚染を阻止しようとする様々な環境活動グループがありますが、どの団体も取り上げなかった家畜が排出するメタンガスにスポットを当てたのは、斬新な切り口だと思います。

この映画では世界を救うのは菜食主義であるという主張なのですが、デューカプリオは菜食主義ではありません。環境保護団体は、それぞれ主張が違いますが、菜食主義で環境保護をというテーマに目を向けたこの作品を多くの人に見て貰うことで、世界中の人々へ環境問題により関心を持って欲しい、という思いが込められています。団体の主張がそれぞれ違っても、個々の考えが違っても、環境問題への意識という大きなベクトルを揃えることは、重要なことではないでしょうか。私はこの分野、あなたはそのうちの分野、それぞれで取り組んでいくという考えは、重要な事です。この映画はNetflixで見ることが出来ますので、内容よりも観ることで環境問題への意識をより高めていただければと思います。

す。いわば、各々の環境保護団体の主張にたてつくわけではなく、各所からその主張を向かわせていく、ついにこのドキュメンタリーの制作スポンサーからも資金をたたれてしまっています。そこで支援を行ったのがレオナルド・ディカプリオなのですが、彼はなぜ支援したのでしょうか？ キップの主張に賛同したのでしょうか？ いや、決してそうではないと思います。